

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：中国経済成長の真実 ILAS Seminar :The truth about China's economic growth			担当者所属 職名・氏名	経済学研究科 教授 劉 徳強		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2024・前期	受講定員 (1回生定員)	14 (14) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	火5	教室	法経東館 1 階105演習室			使用言語	日本語
キーワード	改革開放 / 経済成長 / 技術革新 / 経済格差 / 米中対立						
[授業の概要・目的]							
40年以上に及ぶ経済成長により、中国は世界第二の経済大国になり、国際的に大きな影響力を持つようになった。社会主義の看板を掲げながら、中国はなぜ成長することができたのか、改革開放はどのように行われたのか、経済成長は中国に何をもたらしたのか、中国経済の成長メカニズムは何か、今後持続していけるのか、中国は東アジア諸国と同じように先進国の仲間入りを果たすことができるのか。この演習では、こうした問題を参加者の皆さんとともに議論していきたいと考えている。							
[到達目標]							
中国経済の成長メカニズムや中国経済や社会の実態に対して一定の理解を得ること。							
[授業計画と内容]							
この授業では、参加者の皆さんが気になっている中国の経済・企業・社会の諸問題について研究テーマを設定し、独自に研究してもらいたい。そのための基礎知識を前半で一緒に勉強し、後半では各自の研究成果を報告する。							
1. 授業概説 2. 中国経済の軌跡 3. 中国農村における改革と発展 4. 国有企業の改革と私営企業の発展 5. 国際貿易と外資導 6. 財政・金融と資本市場 7. 人口問題と労働市場 8. 権力の腐敗と所得格差 9. 中国デジタルエコノミーの展開 10. 貿易摩擦と米中対立 11～14. 参加者による研究報告 15. フィードバック							
[履修要件]							
特になし							
[成績評価の方法・観点]							
平常点(30%)、プレゼン(30%)、最終レポート(40%)に基づいて評価する。							
----- ILASセミナー：中国経済成長の真実(2)へ続く↓↓↓ -----							

ILASセミナー：中国経済成長の真実(2)

[教科書]

南亮進・牧野文夫編著『中国経済入門』（日本評論社、2016年）ISBN:9784535558663（第4版）

[参考書等]

（参考書）

アーサー・クローバー『チャイナエコノミー（第2版）』（白桃書房、2022年）

福本智之『中国減速の深層』（日本経済新聞社）

授業開始時にさらに必要な資料を指定

[授業外学修（予習・復習）等]

- ・授業で予定される勉強内容を事前に予習しておくこと
- ・自らデータや情報を収集し、分析すること。
- ・中国の経済、社会、政治などの動きに常に興味を持つこと

[その他（オフィスアワー等）]

- ・個別相談や指導は随時受け付け可。事前にメールで連絡することが望ましい。
liu.deqiang.4z@kyoto-u.ac.jp